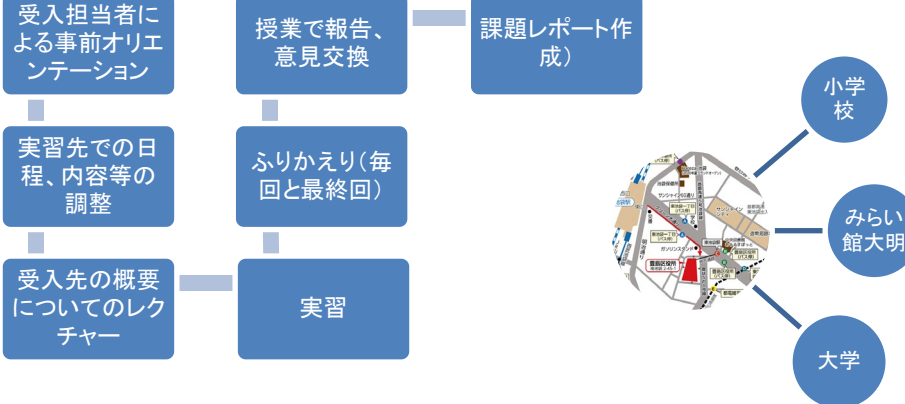


実習先	豊島区文化商工部学習・スポーツ課
目的・テーマ	豊島区の社会教育・生涯学習を学ぶ
目的・概要	受講学生・実習先の問題意識・背景・目的等 学校や家庭以外での子どもたちの居場所や学ぶ場の現状を知る 学校や地域と繋がりをつくる社会教育の在り様を探る 豊島区の社会教育の長所や課題をつかむ
	概要 2018年7月下旬～8月上旬の計7日間  小学校における夏休み学習教室支援と放課後子ども教室にスタッフの立場で参画する 区役所内における事務作業(データ入力、統計作業、資料印刷・ホチキス、)従事 コミュニティ大学やみらい館大明における事業運営に従事 区内各種施設の見学(本庁舎、史跡、地域文化創造館、等)
分野	子ども・高齢者・学習・教育・施設・環境
形態・期間・人数	2週間のうちの( 7 )日間/人数( 1 )人
方法	講義・見学・観察・調査・参加・体験・ボランティア・PBL・AR
プログラム	(事前)  実習にあたっての事前オリエンテーション(90分授業を2回) ネットで情報収集 実習先を訪問しての日程・内容等の打ち合わせ
	(事中)  夏休み学習教室、放課後子ども教室、コミュニティ大学、みらい館大明(のびのび日和、ブックカフェ等)事業の運営に従事した。具体的には、職員が行うこと全てを一緒に担当した。夏休み学習教室では、必要とする児童の学習を支援した。 また、区役所本庁舎内では、説明を聞くとともに、職員が行うデータ入力や印刷等の事務にも従事した。  最終日には、同時期に別のプログラムで実習していた学生とともに、実習発表会が開催され、実習全体をふり返っての報告をした。
	(事後) 「社会教育演習」の授業において、作成したパワーポイントを使用し、実習内容と実習を通して学んだことを報告した。なお、パワポについては、事前に指導担当教員に提出し、アドバイスを基に修正を加えた。 授業では45分間ほど報告し、その後の質疑を20分、最後にコメントを記入。いただいたコメントについては、次回の授業において感想を伝えた。 これからのことであるが、課題レポートを提出することで、終了となる。
方法論上の特記事項	実習の受入先は自分自身で探すことを基本としている。最初のアポイントの取り方、趣旨の伝え方等について、自分なりに準備することが求められている。

成果	(学生)  (受入先)  (その他、地域住民、連携先等)	(表、グラフ、数値など定量的成果)
実施イメージ		
資料・写真等	<p>報告パワポから「3 事務作業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表計算の確かめ</li> <li>誤字脱字</li> <li>書類分け・印刷作業</li> <li>統計集計</li> </ul> <p>地道だが大切な作業 数字で社会教育を理解</p> <p>「7 みらい館大明」</p> <p>みらい館大明・・・閉校施設を利用した 生涯学習施設 地域や大学のサークル、ドラマ撮影など に利用 ブックカフェ・・・「つどう」、「つながる」、「やってみる」をコンセプトとした若者支援事業</p> <p>↓ 社会との繋がりをつくり続ける</p>	
実施主体 関係情報	立教大学「社会教育演習」 担当 高井正	